

# 高き志【こころざし】

地域とともにある

勢いのある学校

No. 3 (H31. 4. 24発行) 文責 校長 福田雅也

## 素敵なスタート

この時期の学級通信は、それぞれの学級がスタートしてある程度の期日が過ぎ、子どもたちの様子を受けての担任の思い等が書かれている通信がいくつかありました。

2年生の学級通信にはこのような事が書かれていました。

すてきな2年生…

- ・図書室で少しバラバラになっていた本をていねいに片付けている子が！！ 素晴らしい
- ・給食の牛乳パックをきれいにたたんで、捨てやすいように工夫している人も 人のために
- ・そうじがない日に「一人ごみを5こずつ拾って」と言うと、10個以上拾おうとすばやく探し回る人がいっぱい

こんな すてきな姿をたくさん見せてくれました。

子どもたちは様々な場面でいろいろな頑張りをを見せてくれています。しかし、教師がそれを見逃してしまえば、子どもたちはその価値を感じることができずに、その頑張りは次につながらないのかもしれませんが。2年生担任の中島先生は、子どもたちの光る場面を見逃さず、しっかりと誉めて育てようとしています。

また、6年生の学級通信には次のようなことが書かれていました。

6年生の優しさに 大きな拍手！！

入学式の準備や片付け、1年生のお世話、縦割り班活動の準備など、子どもたちは頑張っています。朝1年生教室へ行き、荷物の片付けを手伝ったり、一緒に遊んだりしています。これからも最学年として、「学校の顔」としての意識を高めていきたいと思います。

【1年生のお世話をしたり、一緒に遊んだりしている3枚の写真とともに書かれていました】

記事にもあるように、6年生は「学校の顔」です。学年のスタート時期にその自覚を子どもたちにしっかりと持ってほしいという担任の甲斐先生の気持ちがよく伝わってくる記事です。写真も掲載されていたので、6年生の子どもたちは実際の場面を振り返りながら、最上級生として頑張っていく意欲を高められたのではないかと思います。

5年生の学級通信には次のような記事がありました。

【入学式の準備がうまくいかず30分以上時間超過しても終わらなかった記事に続き】

<そこでりベンジ>

翌日の入学式の片付け時間は25分しかありません。しかし、やりました！！今度は、始めから、全員で仕事にかかり、なんと15分で終了。お見事！！

ここで、「やればできる何事も できぬは 人の為さざるなり」という上杉鷹山の名言を紹介したのでした。

高学年としての初めての仕事「入学式の準備」がうまくいかなかった5年生。しかし、担任の岩木先生のアドバイスで片付けはバッチリ行うことができました。失敗を無駄にせず、そこから成長を引き出すことができている点が素晴らしいです。しかも、時期を逃さず偉人の名言により自分たちの成長を実感させてもらえたようです。

今回は3学級だけ紹介しましたが、このように、高木小学校はとても素敵なスタートを切ることができました。